



おごおり

第352号

日本郵趣協会 小郡支部 第29巻 第7号 2019. 7. 01.

内台間準備飛行郵便

那覇 09.07.30.



着印 博多 09.07.31.

(コレクション拝見より)

目次

P.2 コレクション拝見 「航空郵便 戦前編」 中島克巳

P.11 新切手ニュース

P.13 郵趣活動 「筑後地方 切手のつどい2019」開催の お知らせ

P.14 例会報告

飛行郵便

大正14年4月20日より、料金完納した第一種および第二種郵便物に「飛行」と朱書すれば飛行機で運送することになった。(別納など除外あり)

東京大阪線 東京府及び横浜市内各一、二等局。

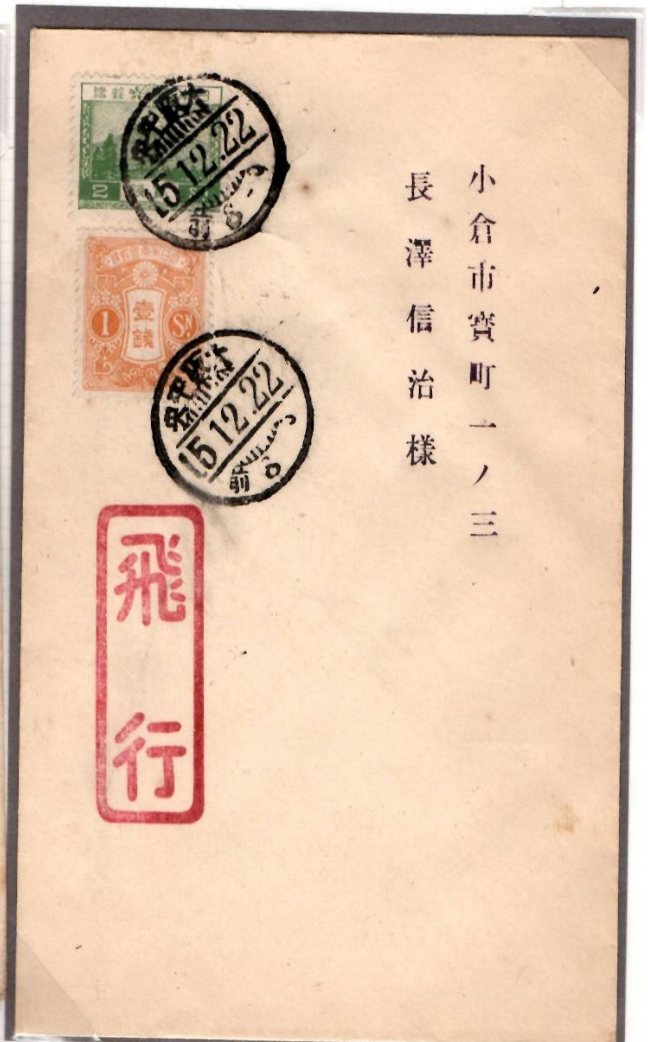
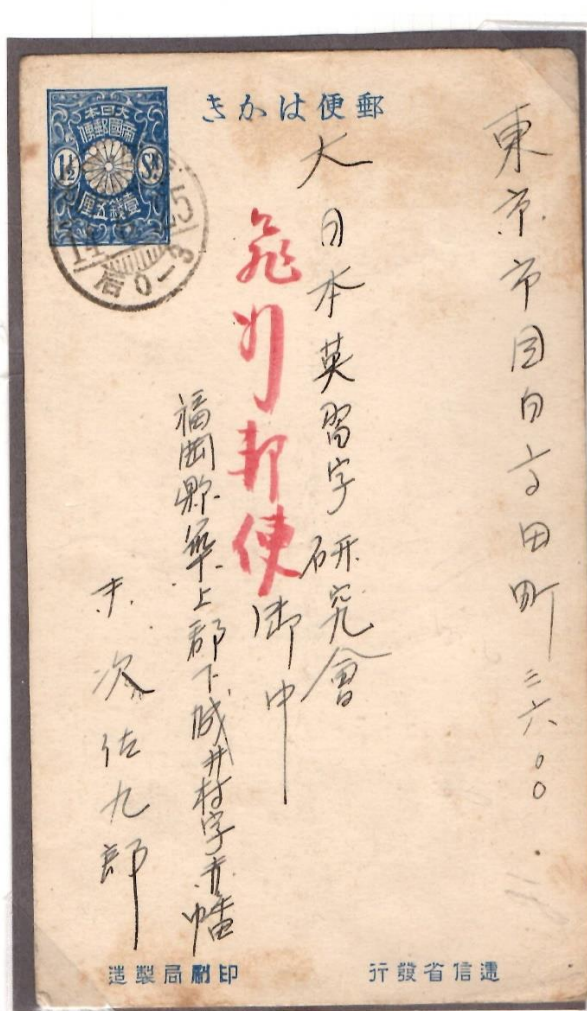
東京は毎週月、水、金曜日午後出発。

大阪、京都及び神戸市内各一、二等局、伏見、堺、尼崎、西宮の各局。 大阪は毎週火、木、土曜日午後出発。

大阪福岡線 差立局は上記と同じ。 大阪は毎週月、水、金曜日午後出発。

福岡、博多、久留米、小倉、門司、若松、八幡、戸畑の各局。

福岡は毎週火、木、土曜日午後出発。



00, 14, 6, 25

大阪中央15, 12, 22

内 鮮 航 空 郵 便

蔚山（朝鮮ウルソン）ー福岡



蔚山4（昭和）、6、22消印。福岡4、6、22着印

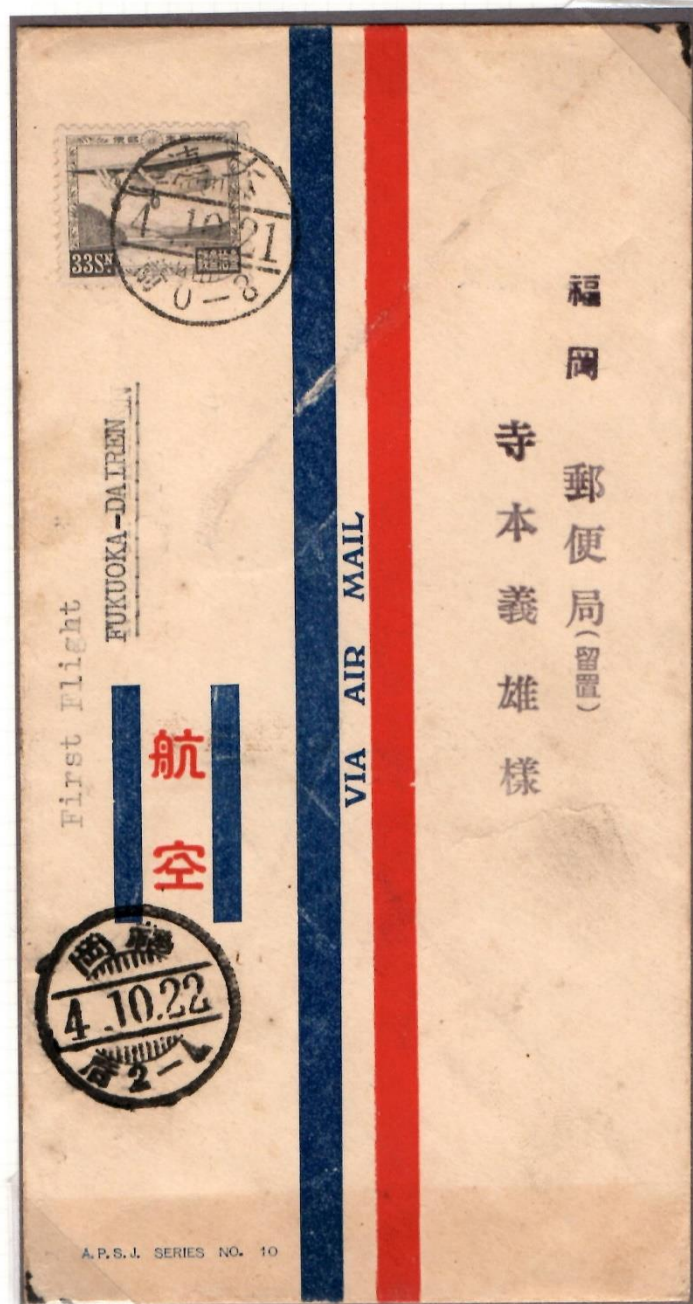


蔚山4、9、10消印 福岡4、9、10着印

大連航空便

大連（関東州）あて

第 1 種料金 3 銭 + 航空料 3 0 銭 = 3 3 銭



大連 4、10、21 着印 福岡 4、10、22

航空郵便開始

四国への開始

昭和4年6月1日より大阪-高松-松山線が開設され、東京や福岡線へも接続するようになった。

下の航空郵便は、高松から福岡あて。裏面に博多の消印。
経路は、高松-(大阪)-博多-福岡



絵はがきの裏面



博多4、6、2

消印 高松4、6、1
着印 福岡4、6、2

内台航空郵便開始

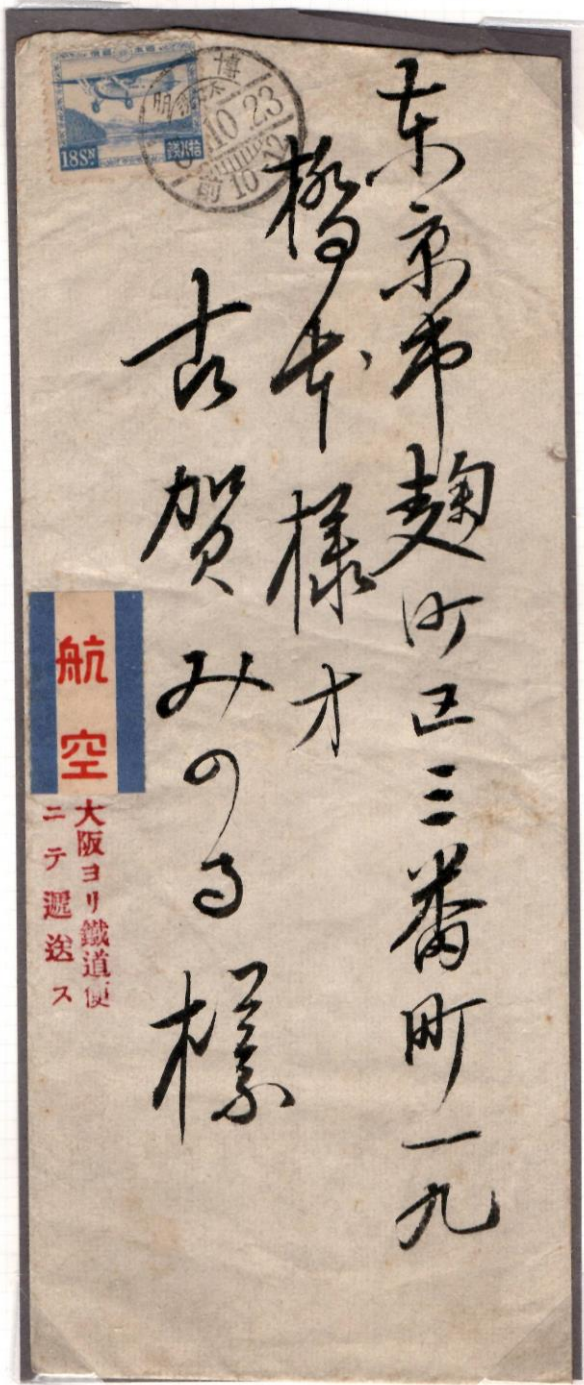
昭和10, 10, 12. 福岡-台北間に航空郵便を開始。



消印は記念印台北10, 10, 12 着印は博多10, 10, 13

国内航空郵便

芦ノ湖航空18銭貼
博多-大阪間は航空郵便。大阪間は鉄道便で遞送



消印 博多5、10、23 D欄(太刀洗)

昭和 1 次 切 手

書留航空郵便

富士鹿（昭和白紙）20銭と1銭および50銭切手貼りの合計71銭



淀橋15・3・10消印 書留ラベルは東京
 日満間航空 スイスあて
 東京から満州国までは航空扱いで、それからは、シベリア
 鉄道経由で運送されたと思われる。
 裏面の到着印は、THUN 28、Ⅲ、40とあり、東京
 から18日を要している。

1. 出品者 プロフィール

収集歴 SINCE 昭和の初め

収集範囲 日本全般

2. コレクション拝見 「航空郵便 戦前編」

我が国に飛行機が飛来したのは、明治43年12月。2名の陸軍士官が、留学先のフランスおよびドイツから帰国の際に持ち帰った飛行機を、代々木練兵場で飛行した。

その後、明治45年米国人アットウオーターが来日し水上機を使用して芝浦一横浜間の飛行を公開した。この飛行機に郵便物を搭載し、飛行機の見物に入場料が必要で、それ以降は郵便を搭載した飛行機の試験飛行が地方にも及ぶようになった。

大正8年、帝国飛行協会は懸賞金付きの東京一大坂間の飛行郵便を企画した。逓信当局は飛行郵便試行記念切手を発行し郵便を搭載した。10月4日東京の洲崎埋立地を飛び立った飛行機は天候不良で引き返し飛行は中止になった。大阪から東京への飛行も中止となり、いずれも汽車で運ばれて、宛先に届けられた。

「大正14年4月20日より当分の間左記により飛行機による郵便物の逓送を開始す」と逓信省告示があり、東京一大阪、大阪一福岡での飛行郵便の取り扱いを開始した。飛行郵便を利用するには、料金完納の封書と葉書でその表面に「飛行」と朱書した郵便

を取り扱いを指定された郵便局に差し出す。福岡の指定局は博多、久留米、小倉、門司、若松、八幡、および戸畑の各局で、博多局で毎週火、木、土曜日午後に出発した。更に大正14年5月20日から大阪—高松—今治間の取扱が開始された、この四国線は大正15年5月17日からは大分までのびて、飛行郵便は、大分、別府、宮崎も利用できるようになった。

私が収集している航空郵便は、大正14年4月の航空料無料時期からで、福岡を発着したものだけを対象にし、筑前国筑後国郵便局や九州の鉄道郵便局印と郷土につながった延長線上の収集である。